

Beethoven The Complete Piano Sonatas

日本ベートーヴェンクライス後援

第6回

# 歌のかなた

歌わずにはいられない時、ベートーヴェンがそばにいます。

# ベートーヴェン 鉄百合奈

Yurina  
Tetsu

ピアノ・ソナタ全曲演奏会

## program

L.v.ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ 第9番 ホ長調 Op.14-1

ピアノ・ソナタ 第10番 ト長調 Op.14-2

ピアノ・ソナタ 第24番「テレーゼ」嬰へ長調 Op.78

ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 Op.109



Mirake  
Sayaka  
Salon

123  
Mirake Sayaka Salon (vol.84)

全曲プロジェクト第2弾

2021年 **4月25日** (日) 14:00 開場/15:00 開演  
入場料：会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)



# 鐵 百合奈ベーターヴェンピアノ・ソナタ全曲、注目の第6回!

2021年4月25日(日)  
14:00 開場/15:00 開演

【入場料】  
会員 3,500円/一般 4,000円/学生 2,000円

【当日プログラム】

- ピアノソナタ 第9番 ホ長調 Op.14-1
- ピアノソナタ 第10番 ト長調 Op.14-2
- ピアノソナタ 第24番「テレーゼ」嬰へ長調 Op.78
- ピアノソナタ 第30番 ホ長調 Op.109

<プログラム>

## 2019

第1回「受苦」2019年2月17日(日)  
第1番、第12番「葬送」、第22番、第23番「熱情」

第2回「あこがれ」2019年6月16日(日)

第2番、第15番「田園」、第27番、第28番

第3回「構築を求めて」2019年9月8日(日)

第3番、第6番、第11番、第21番「ワルトシュタイン」

## 2020

第4回「悲しみ」2020年2月23日(日)

第4番、第5番、第8番「悲愴」、第26番「告別」

第5回「精神」2020年12月6日(日)

第7番、第19番、第20番、第29番「ハンマークラヴィーア」

## 2021

第6回「歌のあなた」2021年4月25日(日)

第9番、第10番、第24番「テレーゼ」、第30番

第7回「いずこへ」2021年10月3日(日)

第16番、第17番「テンペスト」、第18番「狩り」、第31番

## 2022

第8回「幻想」2022年2月20日(日)

第13番、第14番「月光」、第25番、第32番

歌わずにはいられない時、ベーターヴェンがそばにいる——  
第6回「歌のあなた」は、全て長調の曲で構成されています。全て長調の回は、この他に第3回「構築を求めて」のみで、これら両者は全8回を二つに割ると対称的に重なり合うように配置されています。内容も対照的になっていて、緻密に構築された男性的な曲を集めた第3回に対し、第6回では、新鮮なインスピレーションに満ち、語りが次なる語りを呼んでいくような曲を集めました。

ベーターヴェンは自然を愛したことでよく知られています。第24番「テレーゼ」にも、みずみずしい自然への気付き、道端のちいさな花を愛でる心などが、生き生きと息づいているように感じられます。第30番は、そのような自然との触れ合いから、最終的に宇宙的な広がりへと到達します。

また、このシリーズ後半半回の特徴としている「同じ作品番号の下に組み合わされたセットのソナタ」、今回は作品14の第9番と第10番を選びました。このセット・ソナタは穏やかで優しい歌に満ちており、ベーターヴェンが初期のピアノ・ソナタの頃から、後期に通ずる「歌」を紡いでいたことが分かります。

私たちが散歩していて、あるいは沈黙を考えていて、ふと、何か歌を口ずさみたくなるとき——そばにベーターヴェンの精神が寄り添っているのかもしれない。

(鐵 百合奈)



©林喜代種

### 鐵 百合奈 (てつ・ゆりな)

香川県生まれ。N&FよりデビューCDをリリース。レコ芸で準特選盤、毎日新聞で特選盤に選ばれる。

2019年よりベーターヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏シリーズを開催、NHKからドキュメンタリーが放映される。

日本音楽コンクール第2位、岩谷賞(聴衆賞)、三宅賞。高松国際ピアノコンクール審議員特別賞。日本クラシック音楽コンクール高校の部第1位、グランプリ。大阪国際/ローゼンストック国際ピアノコンクール、各第1位。2017年度香川県文化芸術新人賞受賞。

2015年、皇居内桃華楽堂で御前演奏。これまで神奈川フィル、芸大フィル、東京シティ・フィル、高響、名古屋シンフォニア、広響と共演、2020年1月に読響、9月に東響と共演予定。

論文「『ソナタ形式』からの解放」で第4回柴田南雄音楽評論賞(本賞)を受賞、翌年「演奏の復権:『分析』から音楽を取り戻す」で第5回同本賞を連続受賞。

ヤマハ音楽振興会、よんでん文化振興財団、岩谷時子 Foundation for Youth、宗次エンジェル基金、各奨学生。

東京藝大附属音高、同大、同修士課程を経て、同博士後期課程に在籍。これまで黒田淑子、大山まゆみ、勝部子、堀江真理子、杉本安子、青柳晋、菊地裕介、ジャック・ルヴィエ、海老彰子、小倉貴久子の各氏に師事。



世界に通用する才能溢れる  
トップアーティストが  
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのご  
生演奏の醍醐味、  
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さんが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき  
サロン・メンバーズ  
追加募集中!



誕生。  
クラシック音楽サロン、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さん)  
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)  
☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)  
070-2168-8484 (時間外可)  
Fax 03(3409)0188

